

SANPO SEIKI

n・ECO

Press
11 2011
月号



がんばろう!! 日本

宮城県下の工場から東日本大震災により海水をかぶった工作機械のオーバーホール依頼を受けました。「操業再開に間に合うように、かつできるだけ費用をかけずに」という要望に応え、通常なら交換する部品も手作業で錆落としし、塗装を省くなどして新規購入の30%程度で仕上げ、大変喜んでいただきました。この様子がNHK「おはよう日本」で放映され、被災地からの問い合わせが増えています。

**P
R**



取材に応える雲田常務



実際に放映されたシーン



「NHK おはよう日本」放映映像



三宝精機工業株式会社
www.sanpo-seiki.com

Case Study

東日本大震災で被災した工作機械を出荷しました

お客さまの課題

宮城県下の漁船エンジン関連の工場から持ち込まれた工作機械は昨年4月に購入したばかりで被災し、水没。買換えは経済的に不可能、9月の操業再開に間に合うよう修理できなければ企業の存続に関わるという厳しい状況からの依頼でした。

東日本大震災から半年以上経過しましたが、多くの工場が近々に操業再開ができなければ顧客を失うという瀬戸際に追い詰められています。この機械も海水に漬かり完全に錆付いた状態でしたが、部品交換は極力避け、すべて手作業で錆を落とし、塗装も省くことで経費を抑えて作業、8月初旬に無事出荷することができました。東北では多くの漁船が津波で破損し、工場もまた工作機械が故障、買換えの目処も立たないために船の修理ができず地域復興の足かせとなっています。当社の経験と技術を生かし、一件でも多くの工作機械をよみがえらせることによって復興の後押しができれば考えています。



オーバーホールが終了した出荷前の機械

仕上げに三宝精機工業の銘板を打ちつける

8月の取締役会において、私の取締役会長就任と前専務取締役 金子一彦の社長就任が承認されました。日本にとって大きな転換の年となる本年、当社もまた節目を迎えました。社員一同初心を忘れず、技術の継承に励むと同時に新たなテクノロジーを取り入れ、よりいっそうの発展を目指してまいります。

会長 金子 憲男



ご用命はこちらまで ▶ **TEL.045-822-3561**

担当



三宝精機工業株式会社
www.sanpo-seiki.com

〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町405番地
TEL 045-822-3561 FAX 045-824-0151
E-Mail : welcome@sanpo-seiki.com